

「相談支援技術研修」開催要項

研修番号

15

集合

1. テーマ

「当事者との協働作業としてのアセスメント」

2. 講師

社会福祉法人半田市社会福祉協議会 事務局次長

コミュニティソーシャルワーカー 前山 憲一 氏

＜プロフィール＞

1964年 三重県出身。

1990年 日本福祉大学社会福祉学部Ⅱ部卒業。

同年 医療法人鴻池会（奈良県）に入職。老人保健施設デイケアの相談・介護職を皮切りに、MSW・PSW・介護支援専門員などに従事。

2003年 半田市福祉部福祉課と嘱託契約。主に障害のある人々の相談支援に従事。

2007年 社会福祉法人半田市社会福祉協議会に入職。地域包括支援センター所長などを経て現職。

この他に日本福祉大学非常勤講師（ケアマネジメント演習）、NPO法人知多地域権利擁護支援センター理事、NPO法人野中ケアマネジメント研究会理事、合同会社HAGKUMI（ハグクミ）

フェロー。

3. 開催日時及び会場

【日時】 令和7年2月5日（水） 10:00～16:00

【会場】 MOBILITY GATE 吹上 2階大会議室

千種区千種3-5-7

最寄駅:地下鉄桜通線「吹上」駅

4. 定員及び対象者

【定員】 50名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】 相談支援事業所従事者

5. ねらい

多様な業務に追われる日々、効率よく仕事を進めることは重要ですが、効果的な実践も求められます。つつい利用者の困りごとを聞くと、既存の社会資源にあてはめることを考えてしまいがちですし、それが必要な場合もあります。しかし本来は、お一人お一人のニーズをしっかりと理解するところから始まります。ソーシャルワーク実践は、ニーズを含めたご本人とその周囲の環境を包括的に理解するアセスメントで成否が決まると言われています。

本研修では、ソーシャルワークアセスメントの核になる「ニーズ主導アセスメント」における、仮説生成・検証・共有プロセスを一緒に経験していきたいと思っています。明日から現場で実践できるように、ステップバイステップで一緒に考えながら進めましょう。

6. 日 程

	9:30	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	講義・相談支援の基本技術		昼 休 憩	演習・事例検討	

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和6年11月11日（月）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。(http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※11月18日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者に
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。
 また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
 中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。